

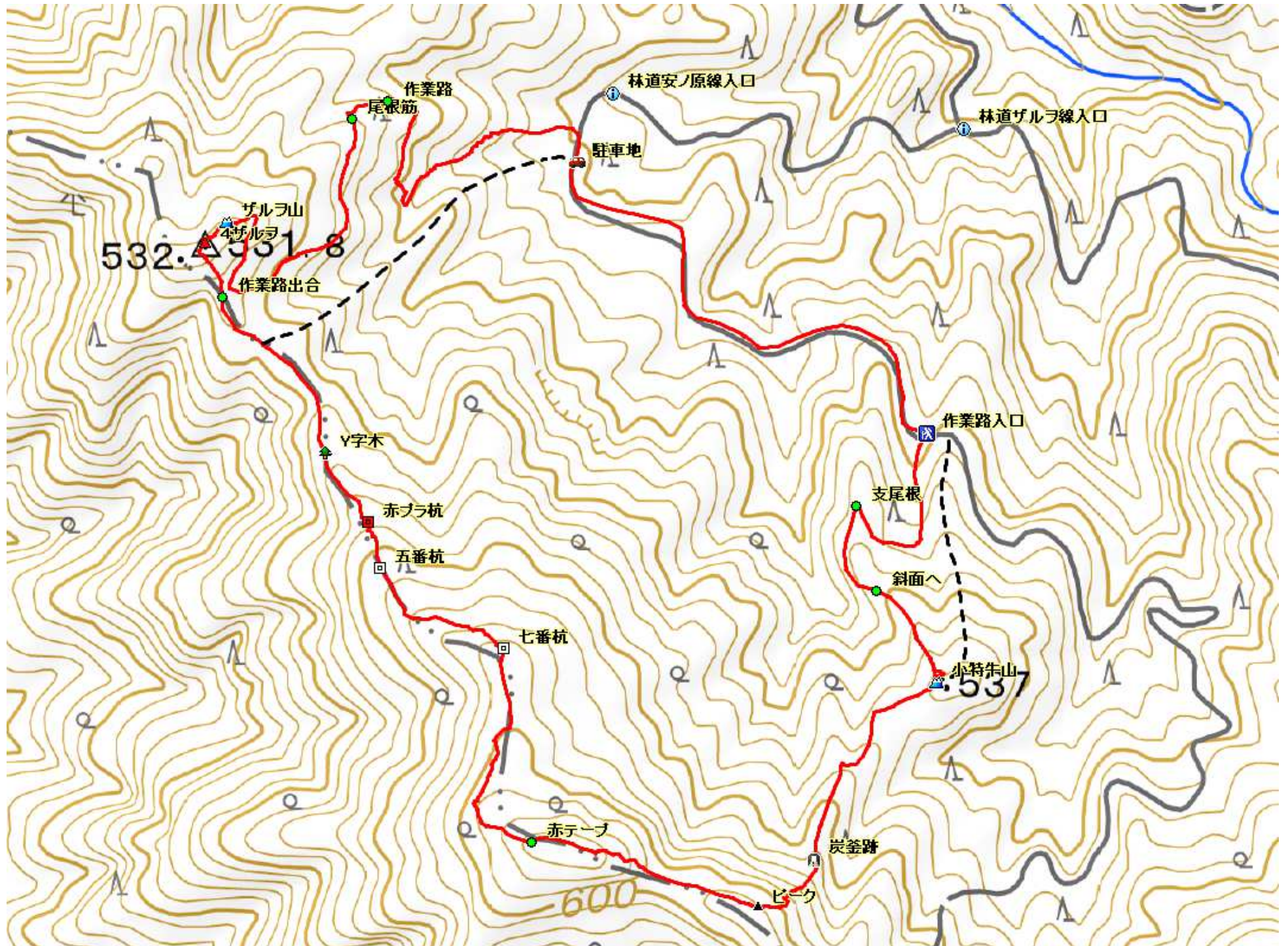
230111 こもってやま ざるをやま
小特牛山(537m)～ザルヲ山(532m)

3.5 km 2時間07分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです



- 駐車地
- ↓ 0:10
- 作業路入口
- ↓ 0:16
- 小特牛山(537m)
- ↓ 0:19
- ピーク
- ↓ 0:43
- ザルヲ山(532m)
- ↓ 0:39
- 駐車地

230111 小特牛山 (537m) ~ ザルヲ山 (532m) 詳細図



小特牛山(537m)～ザルヲ山(532m)

2023.01.11(水) 晴れ

駐車地→作業路入口→小特牛山(537m)→ピーク→ザルヲ山(532m)→駐車地



林道ザルヲ線から林道安ノ原に入り90m程走り、路肩に駐車し南へ向かう。



林道を緩く道なりに上って行く。



伐採斜面の作業路入口が見えて来た。



伐採斜面の外周にネットが張られている。作業路入口は開閉できるので中へ入る。



やや急な作業路を上って行く。



上方へと上って行く。



支尾根からは北北西の展望が得られる。



作業路を南南西へ上って行く。



前方に作業路分岐が見えて来た。



分岐から斜面へ取付く。



目前に小特牛山が見えている。



ネットに出合うが、何とか抜け出る。



小特牛山(537m) (こもってやま)の山名板を見る。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



しかし、ネット際から北西の展望が得られる。



南西へ雑木斜面を下って行く。



ネット越しに北西を望む。



ネット沿いに進む。



西側ネット端部から北北東を望む。



緩やかに雑木支尾根を上って行く。



シカのフン。ネット張りは仕方ない事。



斜面に炭釜跡を見る。



傍のテープ。



この先、80m程の急斜面を上って行く。



上り詰めると、露岩の尾根筋ピークで赤プラ杭を見る。



ヒノキ植林の尾根筋を西北西へ向かう。



緩やかに上って行く。



平坦尾根の赤テープを見て、緩く下って行く。



弱い沢地形上部の斜面を北北東へ進む。



弱いピークに七番杭を見る。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



古い赤布を見て下って行く。



間を抜ける。



スギ植林斜面を緩く下って行く。



五番杭を見る。



スギ植林斜面を北北西へ下って行く。



赤プラ杭を見る。



露岩を抜ける。



露岩先西側にY字木を見る。



北東へ傾いた植林を抜ける。



北西へ緩く上って行く。



作業路に出会う。



伐採際を上って行く。



雑木斜面を北北東へ上って行く。



東南東を振り返る。



四等三角点の標柱を見る。



ザルヲ山の山名板を見る。



平成19年選定の四等三角点:ザルヲ(531.82m)の金属鉢を見る。



北東が開けているので向かう。



30m程進むと、ザルヲ山(532m)の山名板を見る。三角点の場所より陽当たりも良く、展望も得られる事から此処を山頂と付け替えられたのだろう。



行橋市

北北東から東の展望。



東から南の展望。



一息ついて、東北東へカヤ斜面を下る。



作業路へ降る。



南南西へ下って行く。



作業路出合から左へ下って行く。



荒れた作業路を下って行く。



カヤに覆われた作業路となり、獣道を辿る。



カヤの上に年末の雪が残っていた。



尾根筋に達する。



尾根筋から南東を望む。



尾根斜面の植林灌木帯を下って行く。



作業路に出合い南東へ向かう。



カヤに覆われた作業路の獣道を南へ下って行く。



弱い沢を下る。



沢から離れ植林際を下る。



カヤの奥に車が見えた。



駐車地に帰ってきた。

今回のルートについて

- ①伐採斜面への作業路入口からの取付きは不可。
詳細図の黒波線のネット沿い(推定線)に小特牛山へ上る。
- ②ザルヲ山からの作業路
一面カヤに覆われ荒れており歩行不可。
詳細図の黒波線の植林斜面(推定線)を下った方がヤブ漕ぎが少ないと思われる。